

2025 年度一橋大学法科大学院 5 年一貫型教育選抜 (一橋大学大学院法学研究科法務専攻専門職学位課程) 募 集 要 項

法学研究科法務専攻専門職学位課程（法科大学院）は、高度な専門知識と能力及び社会に貢献する意欲を持った法律家、とりわけビジネス法務に精通し、広い国際的視野を持ち、豊かな人権感覚を備えた法律家の養成を図ることを目的とします。

法学研究科法務専攻専門職学位課程（法科大学院）は、高度な専門知識と能力及び社会に貢献する意欲を持った法律家、とりわけビジネス法務に精通し、広い国際的視野を持ち、豊かな人権感覚を備えた法律家の養成を図ることを目的とします。

【法学研究科法務専攻アドミッション・ポリシー】

一橋大学大学院法学研究科法務専攻（法科大学院）は、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成するとの理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 求める学生像

本法科大学院は、「ビジネス法務に精通した法曹」「国際的な視野を持った法曹」「人権感覚に富んだ法曹」という3つの資質を兼ね備えた法曹を養成することを目指しています。そして、本学のカリキュラムは、そのような法曹の育成に資するよう体系的に構築されており、本学の学位は、そのような法曹としての能力と資質を涵養した者に対して授与されることとなります。そこで、本学では、次のような資質・知識・能力を持つ多様な人材を受け入れたいと考えています。

(1) 豊かな人間性・感受性を持ち、現代社会における公正な法の運用において、指導的役割を果たそうという高い志を有している人材

(2) 社会における課題を発見し、自分に備わっている基礎的な知識・技能と創造力を活用して、その解決を図るために粘り強く取り組むことができる人材

(3) 問題解決のために必要となる思考力・判断力、表現力を有する人材

(4) 自己の主体性を保ちつつ、多様なバックグラウンドを持つ人々とコミュニケーションを交わし、協働して学ぶ姿勢がある人材

(5) 国際的な視野と、英語による授業に対応できる基礎的な力を身につけている人材

2. 入学者選抜の基本方針

本法科大学院は、以下の(1)～(3)を入学者選抜の基本方針としています。

(1) 公平性・開放性・多様性を確保する。

本法科大学院は、法科大学院制度が法学に純化した学修者だけでなく、広く人材を受け入れることを理念としていることに鑑み、入学者選抜において何よりも、公平性・開放性を重視しています。出身大学や学部、専門の如何を問わず、全国の有為の人材を求めます。

(2) 法律学の基礎的な学識を有する者とともに、多様な知識・経験を有する者を受け入れる。

法は、社会のあらゆる分野に及んで、人の生活に関係しています。公正な法の運用は、複雑化した現代社会においてますます重要性を増しています。他方で、法の扱う対象も、法の体現すべき正義も、利害関係の対立も、時代とともに動いていきます。正確な法律学の

学識ある者が求められるのはもちろんですが、このような状況において、法曹としての的確な活動が期待される時、必要なのは、現時点における細かい知識の豊富さよりは、時代を超えて維持されるであろう、また、維持されるべきである基礎的な学識であり、その応用力です。また、扱う領域が広いこと、他方で、専門化が進む社会において法律家にも専門性が求められる場面が増加すること等を考慮すると、多様な知識・経験を土台として有する人々が、法的知識・技能を身につけることが重要だと考えられます。

本法科大学院は、このような考え方にに基づき、問題意識をもって丁寧に法律を学んできた者と、法については素人であるが、それぞれの分野での知識を蓄え、経験を積んできた人々を広く求めています。

(3) 社会人・他学部出身者の入学を促進する。

本法科大学院では、(1)に掲げたような公平性に留意しながら、(2)に示した理念を体現すべく、社会人としての活動実績を適確に評価するように工夫し、他学部出身者についても、各人がそれぞれの分野で取り組んだ学業の成果(学業成績)を法曹としての学修の土台として適切に評価するように努めています。

3. 「学力の3要素」の多面的・総合的な評価方法

(1) 評価方法

法学未修者については、「一般選抜」を実施しています。英語の成績による第1次選抜の合格者に対して、第2次選抜を行います。第2次選抜は、小論文試験の結果と、第1次選抜の成績・自己推薦書・学業成績の審査結果を総合して行います。そして、第2次選抜の合格者に対して、第3次選抜として面接試験を行い、面接試験の結果と第2次選抜試験までの結果を総合して最終的な合格者を決定します。

法学既修者については、「一般選抜」と「5年一貫型教育選抜」を実施しています。「一般選抜」では、英語の成績による第1次選抜の合格者に対して、第2次選抜を行います。第2次選抜は、法学論文試験(民事法〔民法・民事訴訟法〕・刑事法〔刑法・刑事訴訟法〕・憲法)の結果と、第1次選抜の成績・自己推薦書・学業成績の審査結果を総合して行います。そして、第2次選抜の合格者に対して、第3次選抜として面接試験を行い、面接試験の結果と第2次選抜試験までの結果を総合して最終的な合格者を決定します。「5年一貫型教育選抜」は、「一橋大学法科大学院(法学研究科法務専攻)と一橋大学法学部法曹コースの法曹養成連携協定」に基づき、本法科大学院の教育課程と接続し、効果的で一貫した教育を目的とした一橋大学法学部の教育課程における教育を受けた者に対して、法学既修者の入学者定員枠の一定数を、論述式の試験によらない評価方法によって選抜するものです。具体的には、英語力・学業成績・自己推薦書・面接試験の結果を総合評価して最終的な合格者を決定します。法学既修者については、本法科大学院2年次の授業に参加しうる水準にあると評価できる者を合格者とします。

(2) 「学力の3要素」と評価項目の関係

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
未修者	英語の成績	○	○	
	小論文試験	○	○	
	自己推薦書	○	○	○
	学業成績	○	○	
	面接	○	○	○

既修者 (一般)	英語の成績	○	○	
	法学論文試験	○	○	
	自己推薦書	○	○	○
	学業成績	○	○	
	面接	○	○	○
既修者 (5年一貫型 教育選抜)	英語の成績	○	○	
	自己推薦書	○	○	○
	学業成績	○	○	
	面接	○	○	○

(注) ○は、特に重視する要素

1. 学生募集人員

専攻・課程	募集人員	
法務専攻・専門職学位課程 (法科大学院)	法学既修者(2年修了予定)	20名程度

2. 出願資格

以下に掲げる事項のいずれにも該当する者であること。

- (1) 2024年4月1日時点において、一橋大学法学部法曹コースに在籍中のものであること。また、一橋大学法学部卒業時において学部在学期間(休学期間を除く)が4年間を超えないことを原則とする。ただし、4年を超えて在学する理由につき一橋大学法科大学院が正当と認める場合には、個別審査の上、5年一貫型教育選抜の出願資格を得ることができる。
- *一橋大学海外派遣留学制度、グローバルリーダー育成海外留学制度又はこれらに類する制度による海外留学のために4年を超えて在学しなければ卒業に必要な単位を修得できない場合は、原則として「正当」と認められる。

注：4年を超えて在学する志願者は、2024年8月5日(月)までに法科大学院事務室(1sjimu@law.hit-u.ac.jp)に出願資格についてあらかじめメールにて問合せください(4年を超えて在学した理由を記載すること)。

- (2) 一橋大学法学部がグローバル教育ポートフォリオに位置づけるプログラム(以下の①②の両方)を修了していること。
- ① PACE I 及び PACE II を修得していること。
 - ② 次に掲げるプログラムのうちから1つ以上に参加していること。ただし、英語プレイスメントテスト(TOEFL ITP テスト) 460点以上の場合、このプログラムの受講は免除される。
 - a. 短期語学留学
 - b. 語学集中研修
 - c. 短期海外留学(サマースクール)
 - d. 長期海外留学
 - e. 海外インターンシップ
 - f. ゼミを中心とした海外調査・インターゼミ等
- (3) 一橋大学法学部3年次に在籍する学生で早期卒業制度により一橋大学法科大学院への進学を希望する者は、3年次の夏学期までに、4年次に在籍する学生で一橋大学法科大学院への進学を希望するものは、4年次の夏学期までに、以下に掲げる事項のいずれにも該当すること。
- ① 一橋大学法学部の法曹コース修了の要件とされている法学部教育科目54単位のすべてを修得していること。
 - ② ①に規定する54単位についてのGPAが3.2以上であること。
 - ③ GPA対象科目の総履修単位についてのGPAが3.5以上であること。
- (4) 一橋大学法学部の法曹コースを卒業見込みであること。

3. 出願方法

(1) 出願期間内に

- ①WEB 出願ページでの出願登録
 - ②検定料の納入（検定料不要の場合を除く）
 - ③必要書類の郵送
- をすべて行うことにより出願が完了します。

WEB 出願ページでの出願登録は、この募集要項と一橋大学法科大学院ホームページ上の「一橋大学大学院出願の流れ」を参照しながら行ってください。

(2) WEB 出願ページでの入力内容及びアップロードするファイルについて

①WEB 出願ページでの入力内容

- ア. 「入試番号」は「JL04」を選択し、「法科大学院 5 年一貫型」の表示を確認してください。
- イ. 「最終学歴」には大学を入力してください。
- ウ. 「研究歴・職歴」には職歴を入力してください（該当者のみ）。
- エ. 「資格等」は入力不要です。
- オ. 「研究題目」は入力不要です。
- カ. 「特記事項 1」には職歴がない場合「職歴なし」と入力してください。
- キ. 入力内容を一時保存したり、登録後に削除することはできません。もし入力内容に誤りがあるまま登録してしまった場合は、再度出願登録を行ってください。

②WEB 出願ページでアップロードするファイル

- ア. 「顔写真データアップロード」に指定された形式の顔写真データをアップロードしてください。
- イ. 「出願書類アップロード」はアップロード不要です。

4. 出願書類 一覧表及び一覧表に続く「注」を必ずお読みください。

書 類 等	提 出 者	摘 要
入学志願票	全員	WEB出願の志願者個人ページから1部をA4用紙に、カラー、片面印刷し、 <u>ホッチキス留めをせずに</u> 提出してください。
成績証明書（原本）（注1）	全員	出身大学の学長又は学部長等が作成したものを1通提出してください。
法曹コース必修法学部教育科目 GPA 報告書	全員	一橋大学法科大学院ウェブサイトに掲載している様式に必要な事項を記入し、提出してください。
自己推薦書（注2）	全員	同じものを 3部 提出してください（ <u>添付書類も3部提出してください。</u> ）。自己推薦書の内容・書式・添付書類等については、注2の指示に従ってください。
在留カード、又は住民票の写し	外国籍の者	在留カード（表裏両面）、又は住民票の写しを提出してください。ただし、在留カードを交付されていない者についてはパスポートの写しを提出してください。
入学検定料 30,000円 ※銀行振り込み 又は コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード	全員	<p>■銀行振り込みの場合</p> <p>三井住友銀行国立支店の 口 座 名：「国立大学法人一橋大学法学研究科検定料口」 口座番号：「普通預金 7761773」</p> <p>あてに検定料30,000円分を振込み、<u>明細書等の写しをA4用紙に貼付して提出</u>してください（所定の振込用紙はありません）。<u>振り込みは原則として出願期</u></p>

	<p>間内をお願いします。</p> <p>■コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合</p> <p>本学の下記WEBサイトから検定料支払サイトへアクセスし、事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードにより検定料を納付してください。</p> <p>https://www.hit-u.ac.jp/faculties/graduate/examfee.html</p> <p>支払い後、コンビニエンスストア（ファミリーマート、セブンイレブン、ローソン又はミニストップ）決済の場合は、店舗で発行される「収納証明書」をA4用紙に貼ってください。その他のコンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合は、検定料支払サイトで申込内容照会結果から「収納証明書」を印刷し、A4用紙に貼ってください。</p> <p>※支払い方法の詳細は、上記の本学WEBサイトに掲載の「一橋大学大学院検定料払込方法」を参照してください。</p> <p>※支払いサイトでの支払い手順等については同サイトの「よくある質問（FAQ）」を確認の上、E-サービスサポートセンターに問い合わせてください。</p> <p>いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p>
--	--

注1： 成績証明書は、2024年度夏学期までの成績が明記されたもの（成績発表日である2024年8月29日以降発行可能予定）を提出して下さい。

なお、本人の責により成績証明書が発行されない場合には、出願書類は不受理となる可能性があります。

注2： 自己推薦書には、自分が法科大学院に入学するのにふさわしいと考える理由、自分が魅力的な法曹になることができると考える理由など、自己のアピールポイントをこれまでの自己の経験、学業・社会活動などに基づいて記載してください。

自己推薦書において自己の有する資格・学位等に言及する場合には、それを証明する書面（複写したものも可）を添付してください。

自己推薦書の添付資料は3部それぞれにつけてください。また、自己推薦書が複数枚になる場合や添付資料をつける場合は、ホッチキスで左上を綴じるようにしてください（添付資料をつける際は自己推薦書とひとまとめにし、綴じてください。）添付資料に外国語で書かれた証明書・文書をつける場合にはその日本語訳も添付してください。在籍していた学校における指導教員等による推薦状は評価には一切反映されませんので、提出は不要です。

自己推薦書に添付する書類で厳封されているものは開封をして添付をしてください。

パソコン、ワープロ等を用いて自己推薦書を作成する場合は、A4用紙2枚（1行40字×30行／合計2,400字相当分）以内で作成するものとし、1枚目の1行目に「自己推薦書」と記載し、2行目に氏名を記載して、3行目より書き始めてください。

手書きによって自己推薦書を作成する場合は、A4用紙の400字詰め原稿用紙（横書き）6枚（合計2,400字相当分）以内で作成するものとし、1枚目の1行目に「自己推薦書」と記載し、2行目に氏名を記載して、3行目より書き始めてください。

上記の書式を逸脱した自己推薦書や、添付資料に不備がある場合には減点されます。

注3： 提出書類のうち外国語で書かれた証明書、文書等がある場合には、必ずその日本語訳を添付してください。

注4： 改姓をしている場合、戸籍抄本等、改姓を証明する書類を提出してください。

注5： 証明書等の偽造、改竄又は虚偽の記載があった場合は、入学許可後であってもこれを取り消します。

注6： 提出書類に不備がある場合、受験資格を得られないので十分に注意してください。特に成績証明書の書類は、発行に時間がかかることが多いので、出願に間に合うように準備し、不備のないようにしてください。

5. 出願書類の提出方法

- (1) 志願者は、所定の方法により検定料を振り込みのうえ、上記の出願書類を角型2号封筒に入れ、「簡易書留」で送付してください。封筒にはWEB出願ページの志願者個人ページから印刷した宛名ラベル(出願書類郵送用)を貼付してください。

提出は国内からの郵送に限ります。持参は認めません。

- (2) 出願書類受付期間

2024年9月2日(月)～9月11日(水) 必着

注：受付期間経過後に到着した場合も、2024年9月9日(月)以前の消印のあるものは受け付けます。受付期間前に提出された場合は受理しません。受理しなかった出願書類については返却します。受付期間内に改めて提出してください。

6. 選考方法

学業成績・自己推薦書・面接試験の結果を総合して合否を決定する。

注：早期卒業を予定しているか標準在学期間による卒業を予定しているかによって異なる選考基準を設けるものではありません。

7. 選抜試験等

- (1) 試験期日・合格発表

期 日	試験の種別	試験 時 間
2024年9月21日(土)	面接試験	10:00開始予定

注1：面接の時間割及び試験室については、2024年9月20日(金)15時に一橋大学法科大学院ホームページ(<https://www.law.hit-u.ac.jp/lawschool/>)に掲載します。

注2：受験者控室への入室開始時刻は、9時を予定しています。

注3：面接試験日に、志願者がGLP等の本学が実施するプログラムにより留学期間中である場合、2024年8月29日(木)までに法科大学院事務室に問い合わせてください。

- (2) 試験の種別と試験方法

試験の種別	試験 方 法
面接試験	個別面接を行い、法科大学院で学ぶ者としての適性や法曹としての適性を審査します。面接試験は法律知識を問うものではありません。

- (3) 試験の採点基準

問題発見能力、分析・統合能力、及び論理的思考力等を採点基準とします。

- (4) 試験場

東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学 国立キャンパス

JR中央線国立駅下車、南口より徒歩約10分

- (5) 受験にあたっての注意

① 選抜試験の際には、必ずWEB出願ページの志願者個人ページから受験票を印刷し、持参してください。

② 出願後にお知らせする「受験上の注意」を必ずお読みください。

- ③試験当日：交通渋滞・事故等で試験開始時間までに到着できない場合は、「受験上の注意」に記載の電話番号に連絡してください。
- ④受験票は入学手続き等でも必要となりますので、受験後も大切に保管してください。

8. 合格者発表等

期 日	発表時刻	掲 示 場 所
2024年9月27日（金）	15：00	一橋大学法科大学院ホームページ

注1：合格者には、「合格通知書」を郵送します。

注2：何らかの事情によりWebサイト上での発表ができなくなった場合は、大学院掲示板（国立西キャンパス 本館西側）に掲示をいたします。

9. 入学手続

- (1) 入学料の納入期間：2025年1月10日（金）～1月16日（木）※予定
入学を辞退する場合は、その旨書面で法科大学院事務室まで連絡してください。入学料を納付後に入学を辞退した場合、入学料は返還しません。
- (2) 入学料の納入額：282,000円
注：本学には、入学料免除・徴収猶予の制度があるので、希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。（入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。）
- (3) その他
入学手続に必要な提出書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。
授業料（年額：804,000円）については、入学後に納入することになります。納入時期・納入方法については改めて通知します。
学生納付金（入学料・授業料）は改定される場合があります。

10. 注意事項

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて法科大学院事務室で行います。
- (2) 出願書類は返還しません。また、各種証明書は自己推薦書に添付するものを除き、必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。受理しなかった出願書類については返却します。
- (3) 志願者が記入する書類はパソコン、ワープロ又は黒のペン・ボールペン（消せるボールペン不可）で記入してください。
- (4) 身体機能に障害のある志願者は、出願に先立ち、法科大学院事務室に連絡してください。その障害の程度等に応じて、受験時や入学後の学修に際して必要な措置についての相談を行います。準備の都合上、法科大学院事務室への連絡は、必ず7月末日までに行うようにしてください。
- (5) 入学者選抜に用いた試験成績及び出願者の提出資料は、入学後の教育指導及び今後の入学者選抜方法の検討資料のために利用することがありますが、それらの目的以外で使用することはありません。
- (6) 本募集要項公表後にお知らせがある場合は、法科大学院ホームページに掲載しますので、適宜確認してください。

(7) 出願手続に関する問合せ先

一橋大学法科大学院事務室

メール：lsjimu@law.hit-u.ac.jp

※お問い合わせはメールでお願いいたします。

☆よくある書類不備例を以下に紹介しますので、特に注意してください。

◎不備例 1

提出された成績証明書の発行日が指定期限外であった。

成績証明書の発行日が 2024 年 8 月 29 日以降に発行のものが有効となります。必ず各自で確認の上、提出するようにしてください。

◎不備例 2

WEB 出願時に未入力箇所がある。

→最終学歴は大学を入力してください。大学院に在籍したことがある方は、「学歴 4」以降に必ず記入してください。また、職歴がない場合は特記事項に「職歴なし」と忘れずに記入してください。

中高一貫教育、編入学の場合も、全ての学歴を記入してください。

入力内容に誤りがあるまま登録してしまった場合は、再度出願登録を行ってください。

◎不備例 3

自己推薦書を 1 部しか提出していない。

→自己推薦書は 3 部必要です（コピー可）。添付資料がある場合、それも 3 部ご用意いただき、自己推薦書にそれぞれ添付してください。

◎不備例 4

出願資格がない。

→「2. 出願資格」で出願資格をよく確認してください。特に冒頭のただし書きを必ずお読みください。